



2019年6月24日

各 位

東京都港区虎ノ門四丁目1番28号
日本通信株式会社
代表取締役社長 福田 尚久
(コード番号: 9424)
問合せ先 広報室長 堀江 祐子
電話 03-5776-1700

日本通信、米国 CBRS 向け SIM 発売決定のお知らせ

日本通信株式会社（以下、「当社」という）は、本日、米国において CBRS（市民ブロードバンド無線サービス）向けの SIM を現地時間 6 月 24 日（月）に発売することを決定しましたので、お知らせいたします。当社は、5G 時代に備え、携帯キャリア以外の事業者または利用企業自身が基地局を設置し、プライベート LTE あるいはローカル 5G として使える無線システム構築に取り組んでいます。このたびの CBRS 向け SIM の発売は、この取り組みの一環で、大きなマイルストーンとして位置付けています。

今回発売する OTA SIM for CBRS は、様々な CBRS 基地局への接続を、Android のアプリケーションの設定をするだけで、SIM へは OTA 技術（Over The Air、オーティイーイー、携帯網あるいはインターネットを経由して SIM の情報を遠隔から書き換える技術）を使って接続情報を書き換え（書き換え）ることにより、利用者にとっては最もシンプルに CBRS 基地局を使えるようにする SIM 商品です。

OTA SIM for CBRS は、「USIM (Universal SIM)」の商品名で、プラスチック SIM 版とサブ SIM 版の 2 種類があります。2 つのアプリケーションが提供され、一つはシステム管理者用の USIM Build App、もう一つはユーザー用の USIM App です。USIM Build App は、CBRS の基地局情報を入力することで、当社側で SIM に書き込む情報に変換し、端末側の SIM に OTA で書き込めるように準備するものです。USIM App は、利用者が USIM に接続情報を OTA で書き込みを行い、接続する CBRS 基地局をスイッチする機能を有しています。共に Google Play App Store からダウンロード可能です。



CBRS は、基地局を設置してソフトと端末で操作するだけの、今でいう Wi-Fi のように挿したら

使えるものだと思われがちです。しかしこの考えは大きな間違いです。なぜなら CBRS は、従来は携帯事業者が提供している、とても複雑な認証とユーザーマネジメントを行なっているからです。当社は USIM 及び関連サポートを通して、ユーザーの接続やテスト、マネジメントを支援し、今後 LTE/CBRS ネットワークが多くのユーザーにとって使いやすく親しまれるものになるよう貢献してまいります。

■日本通信について

日本通信は 1996年5月24日、モバイルが実現する次世代インターネットを活用して日本の次世代経済の基盤を構築する総務省の方針を実現する会社として設立されました。当社ビジネスモデルはのちにMVNOと命名され、2009年3月、総務省の携帯市場のオープン政策のもとNTTドコモとの相互接続を実現しました。これにより「格安SIM」が生まれ、携帯事業者以外から携帯通信（SIM）が買える市場が誕生しました。次は、携帯電話以外の産業が、自社サービスにモバイルを組み込み、産業全体がモバイルを活用し成長する番です。MVNO ルールメーカー、世界初のMSEnabler としての強い技術ビジョンと高い遂行力によって、日本発の経済創出の一翼を担うべく次世代プラットフォームの構築に取り組んでいます。東京、米国コロラド州およびフロリダ州、アイルランドダブリンに拠点を置き、東京証券取引所市場第一部に上場（証券コード：9424）しています。当社のコーポレートガバナンスのポリシーとして、社外役員が 過半数で、全社外役員は独立役員です。